

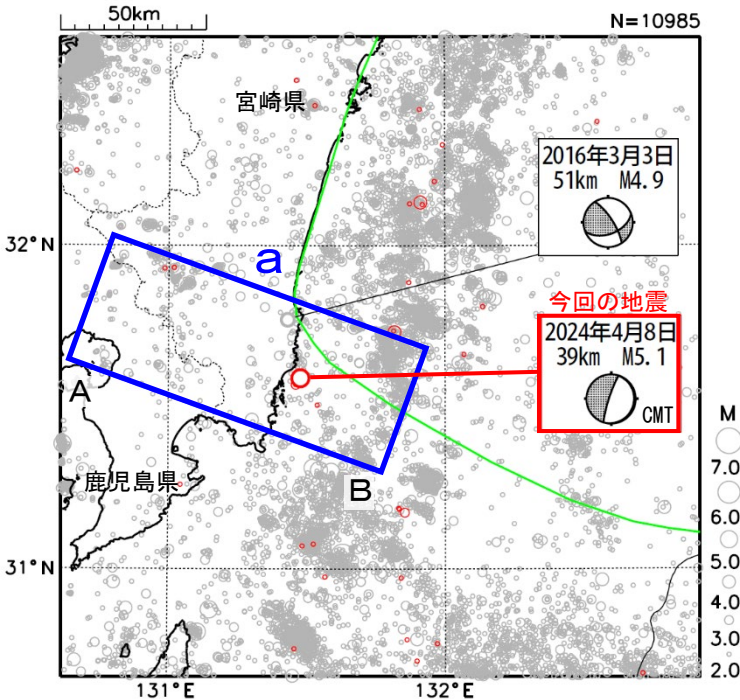
4月8日 大隅半島東方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2024年4月30日、
深さ0～90km、M≥2.0)

2024年4月の地震を赤色○で表示

緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

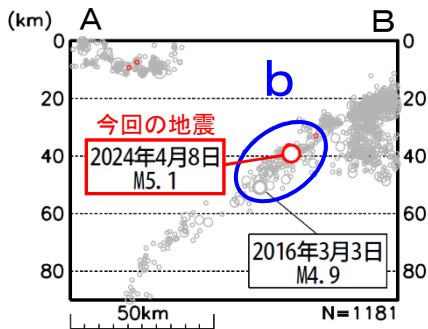


2024年4月8日10時25分に大隅半島東方沖の深さ39kmでM5.1の地震 (最大震度5弱) が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。発震機構 (CMT解) は、フィリピン海プレートが沈み込む方向に張力軸を持つ型である。

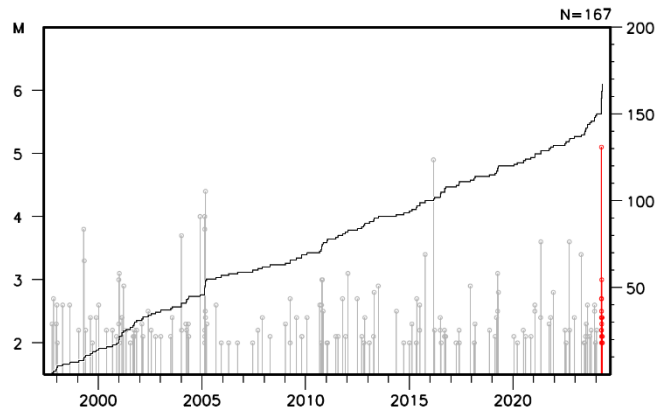
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では2016年3月3日にM4.9の地震 (最大震度4) が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) ではM6.0以上の地震が時々発生している。1961年2月27日に発生したM7.0の地震では、死者2人、負傷者7人、住家全壊3棟などの被害が生じたほか、土佐清水で50cm、細島で45cm、油津で34cmの津波を観測した (「日本被害地震総覧」による)。

領域a内の断面図 (A-B投影)

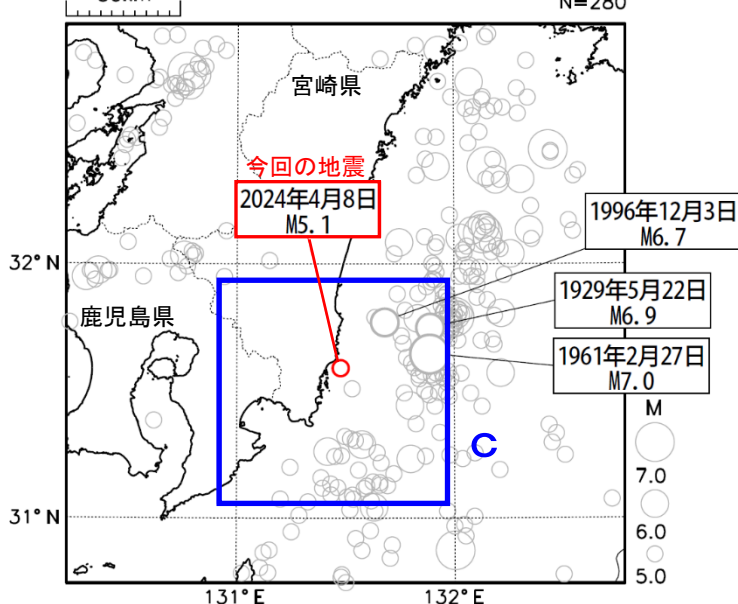


領域b内のM-T図及び回数積算図

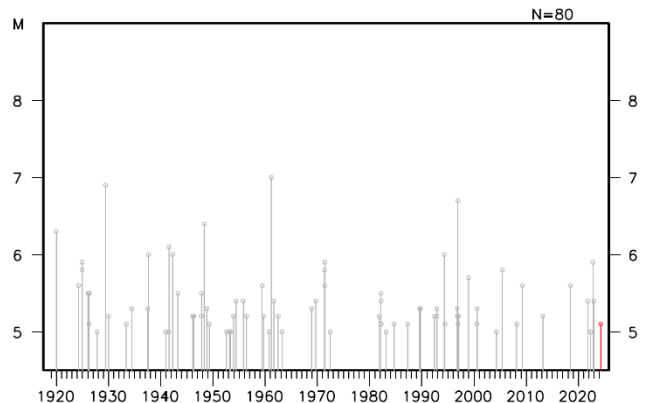


震央分布図

(1919年1月1日～2024年4月30日、
深さ0～90km、M≥5.0)



領域c内のM-T図



気象庁作成